

## 橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	急性心不全患者に対して、自己管理指導の理解が再入院に与える影響について
研究担当者	橋本市民病院 診療技術部 リハビリテーション科 松島 宏治
目的・概要	<p>心不全患者の再入院予防に対して、セルフケアが重要と認識されている。入院中の自己管理指導により知識が向上し、退院後のセルフモニタリング行動の改善を認めることは報告されているが、心不全増悪による再入院予防への影響についての報告は見られず、有用性について検討する必要がある。</p> <p>本研究の目的は、入院中に多職種が連携し疾病管理指導を行い、患者のセルフケア能力・知識の向上が再入院率低下への影響があるかどうか明らかにすることである。</p> <p>入院時に高齢心不全患者のセルフケア評価指標を使用し患者の理解度を判定し、結果に応じて理学療法士・管理栄養士・薬剤師による疾病管理指導を行った介入群と通常の疾病管理指導を行った非介入群に分け、比較検討を行う。群分けはランダムに振り分ける。</p> <p>研究に際してカルテ記事にて年齢、性別、BMI、居住環境、冠危険因子治療歴、基礎心疾患、入院期間、NYHA、EF、BNP、血清クレアチニン、ヘモグロビン、退院処方薬の参照について申請させていただきます。</p> <p>再入院の有無に関しては退院1年後に電話にて入院の有無を確認する。</p>
研究対象 実施機関 実施場所等	<p>対象:2022年2月から2022年8月までに当院リハビリテーション科において心大血管疾患リハビリテーション料算定患者</p> <p>実施場所:橋本市民病院リハビリテーション室、リハビリテーション科控え室</p>
研究期間	2022年2月1日～
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護等	研究に関する説明、同意に関して文書にて説明しサインを頂き同意を得る。
備考	